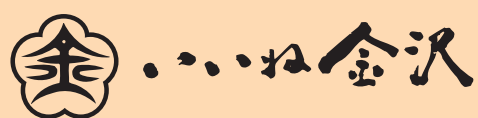


第51号 (2024年度)



# 国際親善ニュース



石川中央都市圏☆グローバルEXPO ～10人の国際交流員と学ぼう！



国際交流特使に任命された蘇州、ポルト・アレグレ、パッファローの短期研修生

**金沢市姉妹都市交流委員会**



# 「石川中央都市圏☆グローバルEXPO ～10人の国際交流員と学ぼう!」初開催!

8月31日(土)、金沢市役所第二本庁舎にて、石川中央都市圏の若い世代を対象にグローバル人材の育成を目指す、「石川中央都市圏☆グローバルEXPO～10人の国際交流員と学ぼう!」を初開催しました。

開催にあたっては、石川中央都市圏の各市町(金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町)で職員として勤務している、7か国10人の国際交流員(出身国:フランス・中国・韓国・イギリス・ベルギー・ドイツ/各1名、アメリカ/4名)が主体となって企画と運営を行いました。

## 国際交流員による国際理解コーナー

国ごとにブースを分け、クイズやゲームを通して、各国の特色や文化を伝えました。また、来場者にパスポート型の台紙を配り、各国国際交流員からの手書きサインを集める企画も考えました。多く集めた参加者には、世界のお菓子をプレゼントしました。



7か国のお菓子



フランスのアクセサリ「スクビドゥ」に挑戦



中国の切り絵「剪紙」を紹介

## 英語チャレンジコーナー

国際交流員らと英会話に挑戦してもらいました。参加者たちは、お題に応じて英語力を試したり、気軽に英会話を楽しみました。



国際交流員と英会話

## 国際交流事業パネル展示コーナー

石川中央都市圏の姉妹都市や友好交流都市などを紹介するとともに、各市町が近年実施した姉妹都市交流事業やイベントなどをまとめ、パネル展示を行いました。

## 海外体験談コーナー

ワーキングホリデーや留学経験者のミニ講座を開きました。留学中のおすすめの過ごし方や仕事の見つけ方、渡航前後の英語力など、実体験をもとにした貴重なお話を聞くことができました。



マレーシア留学のお話

## 留学相談コーナー

留学に興味のある方に向けて講座を開き、講師から留学制度や留学費用、留学に関する支援などの説明を聞くことができました。随時、個別相談も開催し、親子で参加する方々も多くみられました。



留学までのステップを知る

## 食文化コーナー

〈提供メニュー〉

アメリカ: ホットドック

中国: 炒飯、春巻き、唐揚げ

フランス: ガレット、ババオラム など

韓国: チヂミ そのほか、各種ドリンク



4か国の食を学び味わう

# 姉妹都市からの国際交流特使養成短期研修生 4年ぶりに受入！

本市では、2015年度より、金沢と姉妹都市交流を支える地域の交流拠点である「サポーターズクラブ」などが派遣する海外の若者を受入れ、各種講座・体験のほかホームステイなど市民との交流の場も取り入れた「国際交流特使養成・短期研修事業」を、金沢国際交流財団と連携して行っています。

(2020～2023年度は、代替事業としてオンライン体験プログラムを実施)

10回目の今回は、2019年度以来4年ぶりに、アメリカ・バッファロー市、ブラジル・ポルト・アレグレ市、中国・蘇州市より各1名の計3名の研修生を受入れました。2025年1月29日～2月4日の約1週間の研修プログラムでは、金沢の歴史・文化・工芸などに関する講座やお寿司・和菓子作りなどの食文化体験、まちなみ・文化施設・史跡などの見学を通

して、金沢をまるごと体験し、「金沢」についての理解を深めました。

日本人学生との交流会では、学生と一緒に百人一首の絵札を使った坊主めくりや書道の体験を通してコミュニケーションを図りました。

3名の研修生は、最終日に「金沢市国際交流特使」に任命され、帰国後、現地のイベントやSNSなどで、今回体験した金沢の魅力を広く発信していきます。

〔参加者〕

【バッファロー市】チェーピン・メーガン

【ポルト・アレグレ市】ブエノ＝デ＝オリヴェイラ・カロリーナ

【蘇州市】農 子瑩



金箔貼り体験



金沢城・兼六園 見学



きもの着付け体験／琴演奏体験



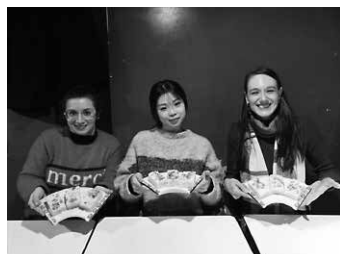
ホストファミリーとの交流



学生との交流会 書道体験



長町武家屋敷 散策



お寿司作り体験



和菓子作り体験

## 第8回 日仏自治体交流会議に村山市長が参加

11月19日～21日、日仏自治体の首長などが一堂に会して、共通の課題についての知見を共有する第8回日仏自治体交流会議が、静岡市で開催されました。「日仏自治体のパートナーシップが世界にもたらす新しい価値」というテーマのもと、日本から35自治体、フランスから19自治体に参加しました。村山市長は、全体会・パネルディスカッションにパネリストとして登壇し、金沢市の環境に関する取組を発表して議論を深めたほか、「環境」分科会においてナンシー市のル＝ソルーズ副市長とともに座長を務めました。最終日には分科会報告が行われ、日仏交流の発展に向けた最終宣言が採択されました。



全体会で発表する村山市長

©ComExBRFJ



# 日本人・外国人住民がともに

## 外国人児童・生徒のための日本語・学習支援教室「わかたけ」

2022年4月から杜の里、7月から大桑の2地区において、NPO法人、大学生、ボランティア、地域団体などと連携し、外国につながる子どもたちを対象に、学校外の活動として、日本語・学習支援教室「わかたけ」が開催されています。

杜の里では第4土曜日に主に杜の里小学校内の地域開放されている会議室で、大桑では第1土曜日に大桑町の大桑集会所で、毎回10名程度の子どもたちが参加し、学生や社

会人ボランティアと交流しながら宿題や日本語学習を行っています。教室では、外国人住民からの生活相談を随時受付けることで、地域の居場所づくりが図られています。

8月に杜の里地区で、地域団体、大学、学校及びNPO法人と、2025年2月に大桑地区で、地域団体、大学、ボランティア及びNPO法人との連絡会議が開催され、円滑な運営が図られています。



杜の里



交流しながら勉強（大桑）



連絡会議（大桑）

## 大桑町平町会と北陸大学日本語ボランティアサークル「つなぐみ」の連携事業

外国人世帯が約1割を占める大桑町平町会では、2022年から日本語・学習支援教室「わかたけ」が開かれており、北陸大学の学生ボランティアが教室運営に協力し、学習指導を行ってきました。協力によって培われた関係を多文化共生の地域づくりに生かそうと、2023年5月、同大生らが日本語ボランティアサークル「つなぐみ」を結成し、同年8月5日、大桑町平町会と連携協定を締結しました。以来、教室での学習指導に加え、児童・生徒向けの催しや町会行事にも連携・協力して取り組んでいます。

### 〈児童・生徒向け催し〉

#### ◆8月3日（土） たこ焼きパーティー

「わかたけ」教室の終了後、児童・生徒だけでなく保護者らが加わり、たこ焼きづくりに挑戦しました。ムスリムの方も安心して食べられる食材に配慮するなど、焼き立て

のたこ焼きに、参加者全員が舌鼓を打ちました。

#### ◆2025年1月11日（土） スポーツ交流会

北陸大学体育館を会場に、クイズ、身体を動かすゲームやドッジ・ボール、バドミントンなどのスポーツ交流を行い、子どもたちとの交流を一層深めました。

### 〈町会行事への協力〉

#### ◆8月24日（土） 夏祭りの運営協力

町会の夏祭りに学生が参加し、子ども向けヨーヨー釣りや焼きそばのコーナーを担当したほか、盆踊りにも飛び入りし、盛り上げに一役買いました。

#### ◆10月26日（土） 防災訓練の運営協力

町会の防災訓練に学生が参加し、訓練時の通訳をサポートしたほか、起震車や煙中訓練を体験しました。



たこ焼きパーティー



スポーツ交流会



夏祭りでのヨーヨー釣り



防災訓練に参加

# 暮らしやすい社会のために

## 外国人住民キーパーソンとの連携促進

2023年5月、本市は、日本在住歴が長く日本語が堪能な外国人住民の方で、母国と日本の違いに詳しく、出身国が同じ住民同士のコミュニティにおいて、情報発信の中心的な役割を担う外国人住民のキーパーソン5名（オーストラリア、中国、インドネシア、タイ、ベトナム）を中心とする連携会議を立ち上げ、日本人・外国人住民双方が暮らしやすい、多文化共生の地域づくりに向けて情報交換などを行っています。

### 〈2024年度の主な連携〉

#### ◆災害対策

- ・7月9日(火)連携会議

能登半島地震を受け、防災をテーマとする会議を開催。能登半島地震発生後の外国人住民の状況やその対応を踏まえて、今後の対策に関する意見交換を実施

- ・10月26日(土)大桑町平町会防災訓練

地域の方と一緒に起震車や煙中訓練を体験したほか、訓練時の通訳として協力

- ・11月5日(火)職員防災訓練

市職員を対象とした訓練に、発災時の外国人避難者への支援の流れを確認するため、海外からの旅行者、外国人住民及び通訳者役として訓練に協力

#### ◆多文化共生施策

- ・11月15日(金)会議での講話

国際化施策に関わる市職員向けのワーキングで、様々な背景を持つ外国人への対応に関する講話

- ・3月15日(土)ゴミ分別説明会

4月から製品プラスチックの分別が変更となることを踏まえ大桑町平町会で実施された説明会に参画

このほかにも、海外からの来街者への対応に関する事例相談、外国人住民向け案内の翻訳、「かなざわ外国人母国語緊急ネット」の発信内容の検討など、外国人住民が暮らしやすい社会に向けて様々な連携を行っています。



連携会議



防災訓練（大桑）



職員防災訓練に協力



会議での講話

### Topics

## 外国人住民の生活をサポートしています！

詳細はこちら→



#### ・かなざわ外国人母国語緊急ネット（LINE）

大雪などの災害情報、給付金などの行政情報を配信しています。

（言語）英語、中国語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語、やさしい日本語

#### ・市役所窓口での通訳サービス

窓口に来られた際やお電話を受けた際、通訳サービスを使って対応できます。

（言語）英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語

#### ・金沢生活ガイド

行政手続や交通情報、お役立ち情報まで、生活に必要な情報をまとめた冊子を配布しています。

（言語）英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、

インドネシア語、ベトナム語、やさしい日本語

#### ・かなざわ外国人子育て支援ハンドブック

本市の保健サービスや手続きを紹介しています。

（言語）1冊に英語、中国語、やさしい日本語を併記

#### ・避難所多言語マップ（→詳細はP7）



# フェアトレードの理念の普及に向けて

市内のフェアトレード団体などから構成される「フェアトレードタウン金沢推進委員会」の主催で本市との連携のもと、フェアトレードの理念の普及に向けて様々な活動が展開されました。（敬称略）

## かなざわフェアトレードフェスタ2024

### ～能登半島地震被災地応援～

5月が「フェアトレード月間」で、第2土曜日が「世界フェアトレード・デー」にあたることから、2024年5月11日（土）に「かなざわフェアトレードフェスタ2024～能登半島地震被災地応援～」が開催されました。今回は、能登半島地震被災地生産者8ブースが新たに加わり、能登を産地とする食品の販売や能登半島地震の写真展示も行われました。

会場 金沢市役所庁舎前広場  
出展団体 39団体  
内容 商品紹介、販売、体験など

金沢市・金沢市姉妹都市交流委員会及び金沢国際交流財団のブースでは、フェアトレードの理念を広く知ってもらうため、パネル展示を行いました。来場者は「自分には何ができるだろう？」との問いかけに自由な意見をパネルに書き出し、ベルギーのスペキュロスッキーをもらって、フェアトレード認証ラベルの存在を再認識していました。



「フェアトレードフェスタ2024」

## フェアトレード塾

2回の講座が開催され、のべ104名が参加しました。

### 〈第1回〉

開催日：9月15日（日）

会場：石川県女性センター

テーマ：「ひとからひとへ、手から手へ。いのち、暮らし、自然を守る balan gon banana」

講師：株式会社オルター・トレード・ジャパン

広報室 室長 赤松 結希

### 〈第2回〉

開催日：2月2日（日）

会場：石川県女性センター

テーマ：「『お買い物で未来をつくる』ネパールの未来を紡ぐ、顔の見える自立支援を」

講師：有限会社ネパリー・バザール

会長 土屋 春代



フェアトレード塾

## フェアトレード エシカルマーケットの開催

フェアトレード エシカルマーケットが開催され、フェアトレード商品や環境に配慮された商品が販売されました。

開催日：10月20日（日）10：00～15：00

会場：金沢市役所第二本庁舎

出展団体：26団体



フェアトレード エシカルマーケット

# 能登半島地震を受けて

## 石川中央都市圏・国際交流連絡会で能登地方を訪問

2025年2月28日、石川中央都市圏・国際交流連絡会は、能登半島地震で被災した外国人住民の状況を聞き、発災時の対応を考えるため、第3回目の連絡会として七尾市と穴水町を訪問しました。

穴水町では住吉地区の避難所となった法栄寺にて、避難してきた当時の環境を体感するため焚火を囲みながら、避難所責任者の丸金良二氏、(一社)防災ジャパン代表の横田義弘氏から、発災直後の話を伺いました。

その後、能登食祭市場にて七尾市国際交流協会の大星三千代理事長から、発災当時は避難所や支援物資の情報が集めにくいこと、外国人住民たちが避難所で身を寄せ合っていたことなどを伺いました。同協会は、地震後に外国人

住民の体験談をまとめた記録誌「～あの時わたしは～」を制作しています。懇談では、各市町から、防災について多くの質問がありました。



法栄寺にて発災当時の話を聞く



七尾市国際交流協会との懇談会

## 日本人と外国人住民が協働する防災訓練 ～大桑町平町会と北陸大学日本語ボランティアサークル「つなぐみ」連携～

10月26日(土)、大桑町平町会と連携協定を締結している北陸大学日本語ボランティアサークル「つなぐみ」は、大桑防災拠点広場で、十一屋校下防災会、市危機管理課、中央消防署などの協力の下、災害が起きたときに助け合える仲間作りや、初期消火など様々な体験ができる日本人と外国人住民が協働する防災訓練を実施しました。

外国人11人を含む約60人が訓練に参加し、サークルメンバーの学生5人とともに、家庭用の防災用品についての説明や心構えについて説明を受けるとともに、発災時に問題となる避難所でのトイレ等の課題について学んだほか、起震車、煙中訓練、水消火器の体験を行うことで、防災意識

の重要性や災害時の対応についての理解を深めました。訓練の最後に、消防車の放水が行われ、参加した子どもたちが歓声をあげていました。



町会・「つなぐみ」の連携防災訓練

## 各国の要人が本市を来訪

能登半島地震を受け、日本に駐在する各国の大使や総領事が金沢市長を表敬訪問しました。

4月16日(火) 呉 栄煥 駐新潟大韓民国総領事  
5月28日(火) 楊 嫻 中華人民共和国駐名古屋総領事  
8月23日(金) ジュリア・ロングボトム駐日英国大使、

キャロリン・デービッドソン在大阪英国総領事

9月4日(水) ギラッド・コーヘン 駐日イスラエル大使



韓国総領事が来訪



英国大使・総領事が来訪

## 避難所多言語マップ〈Google Maps版〉に インドネシア語を追加

金沢市内の避難所を記載した地図(PDF版、Google Maps版)を多言語で公開しています。今回、住民数が多いインドネシア語をGoogle Maps版に追加しました。

紙のマップは冊子「金沢生活ガイド」にも付属しています。  
対応言語: 英語、中国語(簡体字)、韓国語、ポルトガル語、  
インドネシア語、ベトナム語





## 「グローバル人材育成セミナー」を開催

9月19日(木)、県内の企業を訪問し、実際の仕事に関する講話や社員の方との交流を通して、日本人学生や留学生などに国際的な感覚を身に付けながら地元で働く魅力を知ってもらうため、「グローバル人材育成セミナー」を開催しました。

様々な国からの学生など15名が参加し、株式会社メープルハウスと株式会社共和工業所を訪問し、企業説明、工場見学及び質疑応答などを行い、両社の魅力を肌で感じてもらいました。

参加者から、「直接、話を伺いながら現場を見学することで、企業のめざす戦略や生産プロセスについて理解を深める良い機会になった」との感想や、企業の方の温かい配慮への感謝がありました。

9:30	市役所発
午 前	株式会社メープルハウス 企業説明・講話 菓子製造現場の見学（2グループ） 質疑応答
午 後	株式会社共和工業所 企業説明・講話 ボルト工場の見学（2グループ） 質疑応答
17:00	市役所着

また、日本人学生と各国からの留学生らが一緒に参加する事業であることから、「参加者同士が交流を行うことで、異文化理解が深まり、自身の視野を広げる有意義な機会となった」という声も寄せられました。



メープルハウスで講話を聴講



共和工業所で工場を見学

## 「金沢創作アンバサダー」に全州市の伝統工芸作家を任命

姉妹都市に縁のあるアーティストを招聘し、地元の作家や市民との交流を通じて、将来にわたり国際交流の推進と本市の魅力発信に貢献してもらう「金沢創作アンバサダー」事業として全州市の伝統工芸である韓紙の工芸作家で、姉妹都市提携時から両市の交流を支えていただいている(社)韓紙文化振興院の金恵美子理事長を招聘しました。金理事長は全州市が属する全北特別自治道の無形遺産「色紙匠」に認定されている工芸作家です。今回、11月12日(火)に金沢21世紀美術館で開催した「第23回全州伝統工芸展」の開会式にて、4人目となる金沢創作アンバサダーに任命されました。



新たに任命された金理事長(左)

## 「特使レポート」初配信！

これまで任命された「金沢市国際交流特使」は100名を超え、累計107名となりました。

そこで国際交流員が主体となって、帰国後の特使が現地で行う活動の様子などをまとめ、世界各地の特使に発信するための「特使レポート」を作成しました。特使からのレポートのほか、新しく任命された国際交流特使や国際交流

員の紹介、1年間の特使養成塾の内容も盛り込みました。完成したレポートは、世界中の特使や今後の特使養成塾の参加者に配布する予定で、今後の金沢PR活動に役立ててもらうとともに、特使の役割を再認識してもらうレポートとして活用していきます。



# 国際交流特使養成塾の開催

留学生を対象に、母国への帰国後も、SNSや現地でのイベントなどで金沢の魅力を海外に発信してもらう「金沢市国際交流特使」を養成するため、金沢の文化を講義や体験を通じて学ぶ「国際交流特使養成塾」を通年で開催しています。  
本塾を受講し、基準を満たした留学生は「金沢市国際交流特使」として金沢市長より任命されます。  
2024年度は計7回開催し、24の国・地域から108名が参加しました。

## 〈講座内容〉

- 第1回 5月18日(土)  
テーマ：金沢に輝く漆～食器蒔絵の体験をしよう！～  
内容：卯辰山工芸工房漆芸専門員・豊海健太氏による漆の講義、漆の盆に蒔絵体験
- 第2回 6月29日(土)  
テーマ：手描き体験～加賀八幡起上りで盛り上がり！～  
内容：加賀八幡起上りに関する講義、手描き体験
- 第3回 8月24日(土)  
テーマ：金沢の無形文化遺産～能楽への誘い～  
内容：金沢能楽美術館「能楽と手跡」の展示観覧、「観能のタベ」鑑賞
- 第4回 9月21日(土)  
テーマ：金沢梨を食べまっし～Kanazawa Pear-adise Let's Go Fruit Picking!～  
内容：金沢の農業に関する講義、梨の収穫体験
- 第5回 11月24日(日)  
テーマ：金沢の郷土料理～はす蒸しを作ってみよう！～  
内容：食文化についての講義、はす蒸しの料理体験
- 第6回 12月21日(土)  
テーマ：色鮮やかな世界へ～加賀友禅を描こう！～  
内容：加賀友禅会館でのハンカチ手描き体験

## ○第7回 2月16日(日)

テーマ：ここも金沢！～大野からくり記念館へ行こう～  
内容：大野からくり記念館などの見学



蒔絵体験



起上り手描き体験



金沢能楽美術館 展示観覧



梨収穫体験



はす蒸し料理体験



加賀友禅ハンカチ手描き体験

# 国際交流特使による金沢PR活動 在外公館に金沢市ブースを出展

2025年は3か国4公館の天誕生日記念レセプションで金沢ブースが設置され、国際交流特使やサポーターズクラブ、元留学生の皆さんが金沢の魅力をアピールしました。

	〈ブラジル〉 在ポルト・アレグレ 領事事務所	〈ベルギー〉 在ベルギー 日本国大使館	〈フランス〉 在フランス 日本国大使館	〈フランス〉 在ストラスブール 日本国総領事館
開催日	2月5日(水)	2月27日(木)	3月6日(木)	3月21日(金)
場所	社交・スポーツクラブ 「GREMIO NAUTICO UNION」	駐ベルギー 日本国大使公邸	駐フランス 日本国大使公邸	駐ストラスブール 日本国総領事公邸
派遣者	金沢友の会	金沢・гент交流サポーターズクラブ	元留学生 元インターン生	元インターン生
内容	展示：ポスター、パンフレット 味覚：地酒、和菓子 体験：金箔体験			



ポルト・アレグレでの天誕生日レセプション

# バッファロー【アメリカ合衆国】



バッファロー市庁舎

**提携** 1962年（昭和37年12月18日）

**人口** 27万人 **面積** 105km<sup>2</sup>

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。市内には、オルブライト・ノックス美術館、州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西 25km の所にある。

## 「バッファロー・桜祭り2024」開催！

4月27日～28日にデラウェア公園内のバッファロー歴史博物館にて、バッファロー・日本庭園友の会による、「バッファロー・桜祭り2024」が行われました。この祭りは、毎年桜の時期に合わせて開催されており、今回で11回目です。



募金活動と金箔体験の様子

当日は、バッファロー・金沢姉妹都市委員会を母体とする、西ニューヨーク日本文化センターも参加し、顔彩で桜の木を描く体験や風呂敷体験だけでなく、金箔工芸や加賀友禅など金沢にまつわる体験や展示などを行い、来場者に金沢の文化を紹介しました。また会場では、2024年1月に発生した能登半島地震を受けて募金活動を行い、金沢の現状や金沢とのつながりを来場者に伝えました。

## 「日本文化の日」イベントの開催！



日本文化について紹介する様子

11月3日（日）にバッファロー歴史博物館にて、「日本文化の日」イベントが行われました。このイベントは、毎年行われており、今回で17回目です。当日は西部ニューヨーク日本文化センターによる、お守りの紹介やワークショップが行われました。また、盆栽や生け花、茶道を紹介した団体もあり、数百人が来場しました。

## バッファローからの能登半島地震支援

能登半島地震から2日後の1月3日にバッファロー・金沢姉妹都市委員会を母体とする「西部ニューヨーク日本文化センター」が目標額5,000ドルの募金サイトを立ち上げ、支援を呼びかけました。

また、金沢出身のメインボーカルを持つバンド「THE MOLICE」とバッファローを拠点に活動しているバンド「Letter to Elise」がコラボレーションし、チャリティーソ

ング「Ride the Wind（風に乗って）」の制作・アレンジを行い、募金活動をさらに後押ししてくれました。

5月15日までに目標額を上回る、5,249ドル（約82万円）が集まり、集まった義援金は社会福祉法人石川県共同募金会に寄付され、被災された方々の支援に役立てられます。



チャリティーソング収録の様子

### Topics

#### 新 バッファロー市長が就任！

11月19日（火）、クリストファー・P・スキャンロン（Christopher P. Scanlon）新市長の宣誓式が執り行われました。スキャンロン市長は、12年前からバッファロー市議会議員として重要な役職を務めた後、2024年に市議会議長に選出され、このたび第63代バッファロー市長に就任しました。



スキャンロン市長

#### ニューヨーク州立大学バッファロー校トリパーティ学長 大学間交流協定校の金沢大学で講演

4月22日（月）、ニューヨーク州立大学バッファロー校（UB）のサテシ・トリパーティ学長が金沢大学を訪問され、「UB in the Community: From Innovation to Impact」と題した講演会を行いました。大学と地域の協力関係、また同校における地域連携の取り組みについての講演の後には活発な質疑応答も行われました。金沢大学は、1974年にUBと大学間国際交流協定を締結しています。2023年7月には和田学長がUBを訪問するなど、50年にわたりUBとの友好関係を築いています。



講演を行うトリパーティ学長

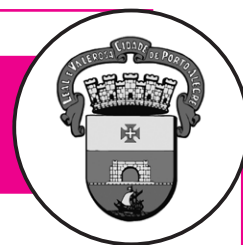
#### 庭園友の会 西田敦子・ミッチェルさん来庁

10月10日（木）、バッファロー市在住であり、デラウェア公園内の日本庭園の維持管理に協力している、バッファロー日本庭園友の会の西田敦子・ミッチェルさんが金沢市役所を訪れました。滞在時間はごくわずかでしたが、11月3日に行われる文化の日のイベントや金沢からバッファローに留学中の学生のお話など情報交換を行いました。



来庁された西田敦子・ミッチェルさん





ボルジェス・デ・メデイロス通り（撮影：Alex Rocha）

**提携** 1967年（昭和42年3月20日）

人口 133万人 面積 496km<sup>2</sup>

ブラジル南部最大の都市で、リオ・グランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオ・デ・ジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしており、グウィーバ川沿いに広がる市街は、美しいパトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウショ（カウボーイ）の像が訪れる人々を出迎えている。

## 洪水被害へのお見舞い

2024年4月末から大雨が降り続き、ポルト・アレグレ市を含む地域は洪水被害に見舞われました。村山市長からメロ市長へお見舞いの書簡を送り、金沢市議会は義援金10万円を送金しました。後日、メロ市長より、お礼の書簡が届きました。

## 金沢友の会が日本祭りで金沢をPR

ポルト・アレグレ市内において、11月22日～24日に「第11回日本祭り」が開催されました。祭りには、6,000人を超える来場者があり、金沢ゆかりのメンバーで構成する金沢友の会は、今年もこのイベントに参加し、金沢のポスターや絵はがき、様々な工芸品でブースを飾り、金箔体験を実施して、来場者に金沢をPRしました。来場者は、金沢の姉妹都市公園にガウシヨ像があることに驚き、興味をもたれるそうです。



金沢を紹介する金沢友の会の皆さん

## 金沢友の会メンバーにインタビュー

ねん がつ にち がつ か かなざわ じっし しくさいこうほうとく  
2025年1月29日～2月4日、金沢で実施した国際交流特  
しやうせい たん きけんしゅう さんか かなざわとく かい  
使養成・短期研修に参加した金沢友の会のメンバー、カロ  
リーナ・ブエノ＝デ＝オリヴェイラさんにインタビューし  
ました。 にほん ほうもん はじめ だそうです。



カロリーナ・ブエノ＝  
デ＝オリヴェイラさん

かなざわ いんしょう  
—金沢の印象は—

雪を初めて見ました。融雪装置が面白  
白いと思えました。交通機関も便利  
で、徒歩でもわかりやすいですね。人も  
やさしく、外国人に慣れていると感じ  
ました。とてもきれいなまちで、金沢  
に住んでみたいと思いました。

—かなざわとも かい はい なん  
—金沢友の会に入ったきっかけは何ですか？

入って3年くらいになりますが、日本祭りに友人が参加  
 していて手伝い始めたことがきっかけです。2006年FIFA  
 クラブワールドカップで、ポルト・アレグレのサッカーチ  
 ームであるインテルナシオナルが日本で優勝したことが、  
 日本への興味を深めました。

—<sup>かなざわとも</sup>金沢友<sup>かい</sup>の会ではどのような活動<sup>かつどう</sup>をしていますか。

てんのうたんじょうびしゅくが にほんまつ かなざわ う  
 天皇誕生日祝賀レセプションや日本祭りで、金沢から受  
 けと かなざわ こうげいひん だんじ  
 取った数々の工芸品やポスターなどを展示してブースを  
 うんえい かなざわ しょうかい  
 運営し、金沢を紹介しています。また、金沢からもらった  
 おお しょもつ せいり  
 多くの書物もあり、その整理もしています。

—大きな洪水がありましたが、ポルト・アレグレの現在の様子はどうですか。

雨が降ると心配はありますが、今は、以前のような生活に戻っています。

ーポルト・アレグレの好きなところはどのようなところですか。

中心地に住んでいて、豊かな文化があるところが好きです。ポルトガル由来の文化を感じると思います。ポルト・アレグレでは、ブラジルの夕焼けが見られますよ！



@fernando berthold on instagram

# イルクーツク【ロシア連邦】



イルクーツクのまちなみ（イルクーツク駅）

**提 携** 1967年（昭和42年3月20日）

**人 口** 61万人 **面 積** 280km<sup>2</sup>

バイカル湖（世界遺産）の西方にあり、東シベリアの政治、経済、教育、文化の中心地。イルクーツク州の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達している。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

## イルクーツク市在住・金沢市国際交流特使 “セルゲイさんとのオンライン交流会” 開催

2025年2月15日（土）、イルクーツク市在住の金沢市国際交流特使であるセルゲイ・オジネツ氏とオンラインでつなぎ、「セルゲイ・オジネツさんとのオンライン交流サロン」を開催しました。

オジネツ氏は、これまで金沢市中学生親善団がイルクーツク市を訪れた際の通訳を何度も務めているほか、現在はイルクーツク日本情報センターの所長・バイカル友好協会のメンバーとして、日本や金沢の魅力発信に尽力しています。

当日は、中学生親善団員としてイルクーツク市へ訪問したこのある交流サポーターのメンバー、イルクーツクとの交流関係者及び市内在住のロシア人ら15名が参加しました。

交流会では、セルゲイ氏がアンガラ川に発生する冬の蒸気霧で覆われた幻想的なまちなみ、冬季はバイカル湖が凍るため氷上を歩いて観光できること、スーパーには様々な商品が並び買い物は困らないことなど、現地の様子を動画や写真を交えて紹介しました。



冬の蒸気霧で覆われたまちなみを紹介

質疑応答では、凍ったバイカル湖の上でスケートをした、山に氷のすべり台を作って遊ぶこと、多くの住民が、寒さに備えるという理由ではなく習慣として、週1回の買い物で多くの食料品を購入すること、マイナス40℃位まで下がり乾燥しているため、日本の雪とは違いサラサラで積もりにくいこと、春先、雪解け水で汚れ、洗車が無駄になることなど、両市の違いを知る機会となったとの意見がありました。

## Topics

### 日ロ沿岸市長会担当課長会議に参加

7月25日（木）、ロシアと交流のある6県11市で構成される日ロ沿岸市長会（代表幹事・新潟市長）が、ロシアとの直接交流が難しい中において、情報交換などを行うために開催したオンラインでの担当課長会議に参加しました。

会議後、（一社）ロシアNIS貿易会・ロシアNIS研究所の齋藤大輔部長のロシア情勢にかかる講演も行われました。

### 金沢市ロシア協会の友好活動

10月5日（土）、金沢市ロシア協会は、コロナ禍で見送っていた総会を3年ぶりに開催し、新たな体制と今後の活動方針を確認しました。

引き続き、12日～13日に、金沢市庁舎前で開催されたかなざわ国際交流まつりに参加し、イルクーツク市のまちなみや、ロシア第2の都市サンクト・ペテルブルグの様子を写真で紹介したほか、2025年2月3日～7日には、金沢市役所第一本庁舎エントランスホールで、冬景色のイルクーツクやバイカル湖などを紹介するパネル展を行いました。



国際交流まつりでのロシア協会のパネル

### 在新潟ロシア連邦総領事がロシア人墓地を清掃

10月5日（土）、ユーリー・ステパノフ在新潟ロシア連邦総領事をはじめ、副総領事に総領事館一行が、野田山の「ロシア人墓地」を訪れ、清掃を行いました。

在新潟ロシア連邦総領事は、毎年県内の「ロシア人墓地」を訪問しており、今回の清掃は、1994年に総領事館が設置されて30周年を迎えたことから、関係行事の一環として行われました。

なお、12月3日（火）、ステパノフ総領事は、石川県ロシア協会の案内で能登町の「ロシア人墓地」を、翌4日（水）には、再び野田山の「ロシア人墓地」を訪れ、献花を行いました。



# ゲント【ベルギー王国】



ゲント市のまちなみ

**提携** 1971年（昭和46年10月4日）

**人口** 27万人 **面積** 156km<sup>2</sup>

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「ゲント・フローラリア」は世界的にも有名。ゲント港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鉱などの産業が発達した。聖パーフ大聖堂や1817年創立のゲント大学のほか多くの博物館や旧跡があり、中でも鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

## ゲント市ヘジュニア・ジャズ・オーケストラJAZZ-21を派遣

4月24日～5月2日、金沢市市民芸術村を拠点に活動するJAZZ-21の23名（団員19名、引率4名）が、2014年以来2度目となるゲント市を訪問しました。JAZZ-21は2012年以来、ゲント王立音楽院やゲントのユースジャズバンドである、GYJO（ゲント・ユース・ジャズ・オーケストラ）と交流を続けながら、音楽を通して交流の輪を広げてきました。



国際ジャズデイ記念演奏会

滞在中、ゲント王立音楽院でのワークショップでは、ウォーミングアップやアドリブ演奏など、基本から応用まで細かな指導を受け、団員たちは熱心に聞き入っていました。

また聖パーフ学校では、2公演を行い、大きな歓声に包まれました。公演の合間には、現地の学生らと一緒に学校給食を食べたり、校庭で話をしたり、言葉が通じなくともジャズを通して交流しました。さらにゲント市長への表敬訪問では、新谷美樹夫団長から村山市長の親書を手渡したほか、ホームステイ中にジャムセッションも行いました。

4月30日の国際ジャズデイを記念したGYJOとの演奏会では、ゲント市庁舎前特設ステージにて、ゲント市長をはじめ多くの聴衆の前で7曲を熱演しました。うち2曲は、ゲント王立音楽院のマールテン・ウェイレル教授による指揮のもと演奏し、ワークショップの成果を発揮し、ゲントでのジャズ交流を締めくくりました。

## 金沢未来のまち創造館で姉妹都市メニューを提供

金沢未来のまち創造館の「ノマチカフェ」で、ベルギー・ゲントの伝統料理が10月から数量限定で提供されました。メニューは、洋菓子分野で姉妹都市交流を支えてくれている名門調理師学校「ホテルスクール・ゲント」提供のレシピに基づき、金沢食藝研究所が研究・アレンジし制作した全5品です。



ゲント発祥のシチュー「ワテルゾーイ」



ブランドル風のビーフシチュー「カルボナード」



こだわりのマヨネーズを添えたフライドポテト

現地の味により近づけるため、「カルボナード」にはベルギーの黒ビールを、「フライドポテト」に添えるマヨネーズには、ゲント

で有名なTierenteynマスタードを使用しています。現地のFerdinand Tierenteyn社から、マヨネーズに一番適し、ゲントとのつながりも深いStropeksマスタードの提供を受けました。

## Topics

### 元金沢市国際交流員2名が ベルギー勲章を受章・在外公館長表彰を受賞

5月31日（金）、元金沢市国際交流員のソフィー・ボックラント氏が、在日ベルギー王国大使館にて、アントワン・エヴラー駐日ベルギー王国大使から、王冠勲章シュヴァリエ章を授与されました。ボックラント氏は、2006年から2011年までの5年間、通訳・翻訳や姉妹都市交流などにたずさわりました。現在は、在日ベルギー・ルクセンブルグ商工会議所のジェネラルマネージャーとして、日本とベルギーの経済関係の発展に向け勤務されています。



ベルギー勲章を受章したボックラント氏

また5月22日（水）、元金沢市国際交流員のマリス・ホルヴート氏が、三上駐ベルギー日本国大使から在外公館長表彰を受けました。ホルヴート氏は、2011年から2013年までの2年間金沢市役所で勤務し、2018年に金沢・ゲント交流サポーターズクラブを立ち上げ、現在も会長として両市の交流を支えています。お二人ともおめでとうございます。

### 金沢大学からの留学生がゲント大学で 水引ワークショップを開催



水引ワークショップの様子

4月29日（月）、ゲント大学へ留学中の金沢大学の学生が、ゲント大学日本学部友の会の協力を得て、自ら企画した水引ストラップ作りのワークショップを開催しました。当日は約30名の学生が参加し、金沢市から送付した手作り水引キットで体験を行いました。参加したゲントの学生は、初めて知る伝統文化に高い

関心を寄せ、楽しい交流の時間を過ごすことができました。

### ゲント金沢ネットワークレセプションの開催

10月25日（金）、ゲント市役所にてゲント金沢ネットワークレセプションが行われました。このレセプションは、ゲント市が毎年10月に開催しており、ゲント市長や駐ベルギー日本国大使をはじめ、教育・音楽・食・スポーツなどで交流を支える関係者約30人が出席しました。

当日は、新たに5名がサポーターズクラブメンバーに任命され、ゲント市長やホルヴート会長から温かく迎えられました。また村山市長からの祝賀メッセージがゲント市長より代読され、スライドショーにて両市の交流を再確認しました。

# ナンシー【フランス共和国】



ナンシー代表団の表敬訪問

**提携** 1973年（昭和48年10月12日）

**人口** 10万人 **面積** 15km<sup>2</sup>

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。総合大学等があり、人口に占める学生の割合が高い学園都市であると同時に、国際的な音楽祭や国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場などが世界遺産に指定されている。

## ナンシー市代表団の訪問

静岡市で開催された日仏自治体交流会議の後、ル＝ソルーズ副市長を団長とするナンシー市代表団3名が11月21日～23日に金沢を訪問しました。滞在中は、村山市長を表敬訪問したほか、津田駒工業株式会社や金沢工業大学・革新複合材料研究開発センター、金沢卯辰山工芸工房、大野地区などを視察し、近郊を含む金沢の学術や文化、経済分野への理解を深めました。

## ガラス工芸作家の派遣

4月24日に、令和5年度にアーティスト・イン・レジデンスを行ったナンシー市出身のガラス工芸作家ジェラルド・ヴァトラン氏が講師を務めるヨーロッパガラス工芸教育養成センター（セルファヴ）のスカパー・センター長が、金沢卯辰山工芸工房を視察しました。その後、12月1日～14日、同工房のガラス工房専門員の鹿田洋介氏をナンシー近郊の同センターへ派遣しました。現地では、作品制作や制作デモンストレーション、講義などを行い、工芸作家や研修生と交流を深めたほか、作品17点がナンシー美術館に展示されました。



Cervav/Julia Schaff  
artist residency at Cerfav, Vannes-le-Châtel, France - www.cervav.fr  
セルファヴでのアーティスト・イン・レジデンス（左：ヴァトラン氏、右：鹿田氏）

## 交換留学生の派遣・受入

9月から富士原芽依さん（金沢美術工芸大学）をナンシー国立高等美術学校へ派遣し、10月からダンギョーム・ファニーさん（ナンシー国立高等美術学校）を金沢美術工芸大学

で受入れし、それぞれが新たな留学生生活を始めました。お二人は、それぞれ31人目の交換留学生になります。

## インターン生の派遣・受入

8月5日～30日、インターンの相互派遣を行いました。金沢市からは、金沢大学の志田圭奈さんと長谷川紗希さんを派遣し、現地では、観光パンフレットの翻訳や日誌作成などの業務を体験しました。また、金沢では、ナンシー国立高等美術学校のアントワーズ・バセさんとティヌヴィエル・クロワッサンさんを受入れ、保育所や図書館、金沢国際交流財団などで就業体験したほか、ホームステイや能鑑賞などを体験して、日本や金沢の文化に理解を深めました。



金沢でのインターン報告会

## Topics

### 金沢市立病院とナンシー大学病院との 研修医などの相互派遣

金沢市立病院は、7月1日～31日、地域圏立ナンシー大学病院から医学生2名を受け入れ、また11月6日～28日、地域圏立ナンシー大学病院へ医師2名を派遣し、両病院の交流を深めました。

### 遊学館高等学校が姉妹校

#### ノートルダム・サン＝ジジスベール校を訪問

遊学館高等学校の教員2名及び生徒8名が、11月14日～21日、姉妹校であるノートルダム・サン＝ジジスベール校を訪問し、ホームステイや高校生活の体験をおして交流を深めました。

### ナンシー国立高等美術学校関係者の来訪

2025年2月3日～4日、ナンシー国立高等美術学校の舞台美術の教員ベアトリス・セルロン氏と国際交流担当職員のカロリーヌ・バージョン氏が、交流協定を締結している金沢美術工芸大学を訪問し、交流を深めました。



## 蘇州【中華人民共和国】



蘇州市内の世界遺産「拙政園」

提携 1981年（昭和56年6月13日）

人口 786万人 面積 8,657km<sup>2</sup>

約2,500年前の「呉」の国の都として築かれた古都。温和な気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。シルク刺繍などの特産品や食の地としても有名であるが、近年は、シルクなどの特産品のほか、近郊に日本企業を含む多くの外国企業が進出し、めざましい経済発展を遂げ、その経済力は中国国内トップ10にランクインしている。2014年12月、本市と同じクラフト分野でユネスコ創造都市ネットワークに加盟。

## 国際交流特使・短期研修事業（P2参照）に参加した農子瑩さんにインタビュー！

## ー今回の研修をどのように知りましたか？

大学の日本語科の先生から案内があり、「ぜひ1度は日本に行ったほうがいい」とおすすめされました。海外旅行自体が初めてでしたが、この機会にぜひ日本に行きたいと思いました。



農子

## ー金沢に来る前のイメージと、実際の印象は？

「金沢」の名前のとおり金箔のイメージが強く、金箔製品の写真もよく見えていました。実際に金沢に来たら、雪がとても綺麗でした。蘇州は雪が降っても積もらないので、雪景色を見られて嬉しかったです。古い建物がたくさんあるのも素敵で、まちなみを保存できるのがすごいと思いました。

## ー研修での印象的なことは？

ホームビジットで、若い夫婦と男の子1人のご家庭に行ったことです。一緒にたこ焼きを作ったのがいい思い出です。皆さんとても優しく緊張はしなかったし、楽しかったです。また、日本の綺麗な着物をきて金沢21世紀美術館に行けたのもとても嬉しく、金沢の魅力をたくさん感じる事ができました。

## ー特使としての今後の抱負は？

日本に行ってみたくてという友達がたくさんいるので、まずはSNSでPRしたいです。特に雪が綺麗だった兼六園をおすすめします。金沢は他の観光地と比べて人が多すぎないため、観光しやすくて、とてもいいまちです。PRしながら、今後は両市の交流のお手伝いをできたらと思っています。

## 蘇州マラソンヘランナーを派遣

蘇州市とはマラソン選手を相互派遣するスポーツ交流を行っており、今回、3月2日（日）に開催される「2025蘇州マラソン」への招待があったため、市民ランナーの林太志氏、平吹千夏氏、芳永成生氏の3名を蘇州市へ派遣しました。3名は無事に完走し、マラソンコースを通じて蘇州市の魅力を感じました。



完走した3名のランナー

## Topics

## 「蘇州市小学校・中学校硬筆コンクール」に参加

蘇州市では、漢詩を通じ、青少年の地域や文化に対する興味を高めるため硬筆コンクールを行っています。今回の「第八回蘇州市小学校・中学校硬筆コンクール」では小学生から大学生までを対象に作品を募集し、外国人部門として金沢市立森本中学校的の6名が参加しました。

コンクールの課題は漢詩の『宝帯橋』『蘇州曲』を清書するもので、この2つの漢詩は、現存する中国最大の連続アーチ橋で、蘇州市にある宝帯橋、虎丘が舞台となっています。

参加した6名のうち1名が特等賞、2名が金賞を受賞しました。

## 「江蘇省太湖湾日本語大会シリーズイベント」に村山市長のメッセージ動画と本市の工芸品を提供

5月18日（土）に蘇州市にて開催された日本語大会の開会式にて、村山市長のメッセージ動画が流されました。

蘇州市が属する江蘇省が主催するこのイベントは、日本語スピーチコンテスト、中日文化交流会、教師による日本語レッスンコンテストの3つの部によって構成され、学生から大人まで参加する大規模な大会です。今回は「姉妹都市特別賞」が設けられ、受賞者には本市の金箔ボールペンと金箔のしおりが贈られました。



姉妹都市特別賞の受賞式

## 蘇州市青年連合会と金沢青年会議所の交流

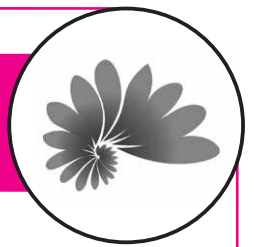
蘇州市青年連合会と金沢青年会議所は2005年6月に友好交流協定を締結して以来、毎年相互に訪問し、ビジネス交流を進めてきました。

5月28日～30日、北村勇樹理事長を団長とする金沢青年会議所の訪問団が蘇州市を訪問し、30回目の連絡会議を行いました。

また11月27日（水）には劉飛蘇州市青年連合会副会長を団長とした蘇州市青年連合会13名が来訪し、北村理事長をはじめ金沢青年会議所7名の同席のもと、新保副市長を表敬訪問するとともに、31回目となる連絡会議が行われました。



新保副市長を表敬訪問



伝統家屋が並ぶ韓屋村の全景

**提携** 2002年（平成14年4月30日）

**人口** 63万人 **面積** 205km<sup>2</sup>

「後百済」の都として千年余りの歴史を持つ古都で、李氏朝鮮を開いた李成桂の本郷としても知られる。国指定宝物の豊南門（ブンナムムン）、韓屋村などの歴史遺産や韓紙（ハンジ）、パンソリなどの韓国伝統文化が創造的に継承されていることが高く評価されている。近年は、炭素繊維産業や「韓スタイル事業」を通して先端技術と伝統が調和する経済を追求するとともに、映画映像産業、生物生命産業なども育成し、21世紀新産業都市への変貌を図っている。

## 「全州国際映画祭」に派遣

4月29日～5月2日、全州市で開催される「全州国際映画祭」への招待を受け、近藤陽介交通政策監ほか1名が全州市を訪問しました。全州国際映画祭は2000年に初めて開催され、釜山国際映画祭、富川国際ファンタスティック映画祭と並ぶ韓国3大映画祭の一つで、アジアを代表する映画祭として注目を集めています。



盛り上がるレッドカーペット

一行は全州市長を表敬訪問するとともに、映画をはじめ全州市の幅広い分野の産業を視察しました。また全州市大衆交通本部長との懇談会にて、両市の交通政策について意見交換を行いました。

## 「第23回全州伝統工芸展」を開催、6年ぶりに工芸作家を受入

金沢市と全州市は2002年の姉妹都市提携以来、両市の伝統工芸品を毎年交互に紹介しあう民間交流を実施しています。第23回となる今回は11月12日～17日の6日間、金沢21世紀美術館市民ギャラリーBにて、韓紙をはじめとする全州市の伝統工芸を紹介する展覧会を開催しました。

これに合わせ、11月11日～14日には全州市から（社）韓紙文化振興院の金恵美子理事長を団長とした代表団21名を6年ぶりに受入れました。

一行は11月11日（月）に市長を表敬訪問し、13日（水）には全州市の韓紙工芸作家であるホ・ソッキ氏による、韓紙を使っ



ワークショップを楽しむ参加者



開会式

てランプシェードを作る市民向けワークショップを2回開催し、35名が参加しました。



韓紙を使ったランプシェード

## 全州市役所に本市漆芸作家の作品を寄贈

全州市の姉妹都市を紹介する、全州市役所内の展示館のリニューアルにとともに、本市の漆芸作家である豊海健太さんの作品を寄贈しました。

作品は漆や白螺貝、金粉などを用いて、日本の伝統的な文様である麻の葉模様があしらわれました。麻の葉模様には「成長」や「繁栄」の意味があり、これからの金沢市と全州市との交流がよりいっそう深まることを願い、制作されました。



全州市庁舎にて展示



「あさのはの」豊海健太

## Topics

「全州未来都市フォーラム2024」に村山市長がメッセージ  
11月11日～13日に全州市

市で開催された国際的なフォーラムで、世界の都市が未来の都市像や施策方針を共有する「全州未来都市フォーラム」に村山市長のメッセージ動画を送りました。動画は開会式で流されました。



開会式での市長の動画

## 金沢市議会が全州市議会を訪問

10月1日～5日、高村佳伸市議を団長とした市議会訪問団8名が全州市を訪問しました。

2004年に友好交流協定を調印した両市議会での定期相互訪問事業の一環として全州市議会を訪問し、「全州ビビンバ祭り」に参加するなど、より一層の友好交流を深めました。



# 大連【中華人民共和国】



大連中山広場（撮影：優異）

**提携** 2006年（平成18年11月24日）

**人口** 609万人 **面積** 12,574km<sup>2</sup>

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で貿易金融の中心都市。総延長 1,900 kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれ風光明媚で活力溢れたファッションとサッカーをイメージした観光戦略都市でもある。また、従来の船舶・鉄道車両などの工業基地に加え、郊外に位置する「大連金普新区」を中心に、3,300 社以上の日系企業が進出しており、先端技術の発展を目指した国際都市の建設に邁進している。（写真引用：「中国国家地理・Discover Dalian, Explore More」）

## 海外教育派遣研修が再開！

9月21日～25日の5日間、堀場喜一郎教育次長を団長とした研修団7名が大連市を訪問しました。

本市は大連市との友好交流事業の一環として、学校教育センターによる教員の海外派遣研修を長年にわたって実施し、教育分野での情報交換を行ってきましたがコロナの影響で実施が延期されており、今回は5年ぶりの派遣研修となりました。

滞在中は大連市西崗中学校、大連市西崗区大同小学校、大連教育学院、大連大学などの教育現場を視察するとともに、教員との意見交換を行いました。



大連教育学院での意見交換



大連大学での集合写真

## 大連市文化観光局が本市を訪問

9月9日（月）、観光プロモーションのために来日した単美娜大連市文化観光局長はじめとする5名が本市を訪問し、村山市長を表敬訪問しました。一行は本市の観光政策について説明を受けた後、金沢駅の観光案内所を視察し、観光客への対応について情報収集を行いました。



観光客案内所の視察

## 「大連市古い友人懇談会」へ出席

2024年2月に続き2回目となる「大連市古い友人懇談会」が9月10日（火）に東京で開催され、本市から藤尾 裕東京事務所長が出席しました。

当日は熊茂平中国共産党大連市委員会書記をはじめ、大連市外事弁公室、大連市商務局、大連市文化観光局などの政府関係者や、日本国内の大連市の友好都市、民間企業の代表など、幅広い分野の関係者が一堂に会し、これからの交流について話し合われました。



懇談会の様子

### Topics

中国国際貿易促進委員会大連市分会が  
山田副市長を表敬訪問

2025年9月に大連市で

開催される「2025大連日本商品展覧会」のPRのため、

滕玉超副会長を団長とした中国国際貿易促進委員会大連市分会代表団5名が

山田副市長を表敬訪問しました。



懇談の様子

した。この展覧会は、日本の商品に特化し、日中の友好交流と経済貿易協力を促進する総合的な国際展覧会で、これまで13回開催されています。

金杉在中国日本国大使が大連市を訪問

9月24日（火）、金杉憲治在中国日本国大使が大連市を訪問し、在留邦人の安全や日本企業支援について理解を深めました。滞在中は熊茂平中国共産党大連市委員会書記と面会し、金杉大使から熊書記へ、村山市長の親書が手渡され、熊書記から謝意が示されました。



金杉大使（左から2番目）、熊書記（右端）と面会

## ■地域の日本語教室「KIEFにほんごカフェ」を開設しました！

2025年1月現在、金沢市の外国人住民数は7,998人で、その数は年々増加しています。2022年に市内在住の外国人を対象に行ったアンケート調査から、外国人住民の多くが、日本人との交流機会を求めていることや、日本語の理解に困っていたりすることが分かりました。そこで、金沢国際交流財団では、今年度から新たに地域住民との会話を楽しみながら日本語が学べる地域の日本語教室「KIEFにほんごカフェ」を開催することにしました。

「にほんごカフェ」では、外国人参加者が、生活に身近なテーマについて自分の考えや経験を日本語で話したり、他の人の話を理解したりできるようになることや、地域住民との交流を通じて顔の見える関係を作り金沢で安心して生活できるようになることなどを目標にしています。さらに日本語学習を支援するボランティアとして活動する日本人にも、外国人にとって分かりやすいコミュニケーションの取り方や、在住外国人の背景、出身国の文化などを学び、理解を深めることで、多文化共生の意識を高めてもらっています。今年度は日曜日と木曜日の午後に、自己紹介、食事、買い物、健康、祭り、スポーツ、防災、季節、仕事など様々なテーマで27回開催し、全部で26ヶ国・地域出身の外国人が教室に参加しました。今後も日本人・外国人住民双方が暮らしやすい多文化共生の地域づくりの推進に向けて、日本語教室の活動を続けていきます。



にほんごカフェ



## ■「外国人子育て応援サロン」開催しました！

育児中の外国人親子の中には、日本語の壁があることで、近くに子育ての悩みや不安を相談する人や、他の外国人親子と交流する機会が限られていることから、今年度から新たに、日本での子育て情報を交換したり、他の外国人親子との交流を通じた仲間づくりを目的とした「外国人子育て応援サロン」を開催しました。

今年度4回開催し、ベトナム、インドネシア、フィリピン、キルギス、マダガスカル、中国出身のママ・パパが3歳までのお子さんと一緒に参加しました。

プログラムの前半は、NPO法人子育て支援さくらこが、親子で体を使った遊びを紹介しました。言葉が分からなくても、音楽やリズムで楽しそうに体を動かすことで、最初は緊張していたママやパパの気持ちまでほぐしてくれたようです。後半は、「子育て情報交換会」として、「子どもと一緒に出かけるおすすめ場所」を紹介し合ったり、「他の外国人ママ・パパに聞きたいこと」などをテーマに話し合いました。参加者からは、「今まで他の外国人ママとお話したことがなかったので楽しかった」といった声をいただきました。各回には、金沢市福祉健康センター（駅西・泉野・元町）の地区担当の保健師も参加し、「ファミリーサポートセンター」や「まちの子育て保健室」など金沢市の母子保健サービスについても詳しく説明しました。



外国人子育て応援サロン





## 国際交流ダイアリー

## 4～6月

4月15日～7月12日

金沢美術工芸大学でフランス・ナンシー国立  
高等美術学校の学生1名を受入

4月16日 駐新潟大韓民国総領事 呉 榮煥 氏 来訪

5月6日～10日

新保副市長一行が台湾・台南市の「八田技師  
夫妻墓前祭」に参列、台南市および台中市の  
政府・市議会を表敬訪問

5月28日 中国駐名古屋総領事 楊 嫻 氏 来訪

5月31日 韓国・禮山郡月進会訪問団 来訪

## 7～9月

7月3日 駐大阪・神戸米国総領事 ジェイソン・R・  
クーバス氏 来訪

7月1日～5日

上寺経済局長がポルトガル・ブラガ市にてユネ  
スコ創造都市ネットワーク年次総会に参加7月10日 韓国、インドネシア、パングラデシュからユ  
ネスコ国内委員会の視察受入

7月28日～30日

市長および金沢市議会代表団が台湾・台南市  
にて「第10回日台交流サミット」に参加、台  
中市を訪問8月23日 駐日英国大使 ジュリア・ロングボトム氏  
来訪

8月26日～2月24日

金沢美術工芸大学からデンマーク王立美術  
院へ学生2名を派遣

9月1日～1月23日

金沢美術工芸大学でデンマーク王立美術院の  
学生2名を受入9月4日 駐日イスラエル大使 ギラッド・コーヘン氏  
来訪

9月24日～27日

山田副市長が韓国・ソウル市での「第10回健  
康都市連合国際大会」に参加

9月27日～12月23日

金沢美術工芸大学でベルギー・アントワープ王立ア  
カデミーの学生2名を受入

9月28日～12月26日

金沢美術工芸大学でフランス・ナント市圏高  
等美術学校の学生1名を受入

## 10～12月

10月1日～5日

金沢市議会代表団が韓国・全州市を訪問

10月5日～11月18日

金沢美術工芸大学で中国・清華大学美術学院  
の教員・学生各1名を受入

10月6日～12日

イタリア・ローマおよびミラノに食文化プロ  
モーション団を派遣

10月6日～14日

イタリア・リミニ旅行博「TTG」へ出展、ロ  
ーマおよびミラノにて観光セミナーを実施

10月12日～15日

野口教育長が台湾・台中市の「白冷圳文化  
祭」に参加10月15日 カナダ・ポートコルボーン市長 ビル・ステ  
イール氏 来訪

10月28日～11月24日

アーティスト・イン・レジデンスにおいてフ  
ランス・リモージュ市の陶芸作家を受入

11月12日 韓国・清州市文化産業振興財団が本市を視察

11月21日 駐日ケニア共和国大使 モイ・レモシラ氏  
来訪

## 1～3月

1月11日～3月20日

金沢美術工芸大学からフランス・ナンシー国  
立高等美術学校へ学生1名を派遣

1月22日～4月26日

金沢美術工芸大学からベルギー・アントワープ王立  
アカデミーへ学生2名を派遣1月24日 在京都フランス総領事 サンドリン・ムシェ  
氏 来訪

2月20日～25日

アメリカ・ロサンゼルス旅行博「LATAS」へ  
出展、観光セミナー等の実施

2月22日～28日

アメリカの料理人5名が市内料亭で研修・交  
流を実施2月26日 駐日ベルギー王国大使 アントワン・エヴラ  
ー氏 来訪

3月3日～28日

アーティスト・イン・レジデンスにおいてフ  
ランス・リモージュ市に本市陶芸作家を派遣

3月21日 駐ベルギー日本国大使 三上正裕氏 来訪

# 自治体国際化協会派遣職員的一年

はいや 灰屋 ひでなり 英成

一般財団法人自治体国際化協会（クレア）パリ事務所へ派遣され、日本からフランスを訪問する自治体の支援や日本の自治体職員向けの最新の情報提供などを幅広く支援しています。海外で勤務するという貴重な機会をいただき大変感謝しています。

2024年9月10日（火）、11日（水）にわたり、滞在型研修及びクレアレポートの調査（『フランスにおける滞在税と自治体による観光政策』）のため、ナンシー市を訪問しました。滞在型研修では、アントワヌ・ル・ソルーズ副市長より、国際関係部門の業務内容、重点施策、課題、今後の展望等について、お話を伺いました。世界中11の姉妹都市の中でも、ナンシー市にとって、金沢市との交流は特別なものであり、距離が離れているにも関わらず、様々な分野で長年交流を継続していることを誇りに思うという言葉が大変印象的でした。クレアレポートの調査では、観光局及びナンシーのホテル組合の新旧会長が運営する2つのホテルを訪問しました。第一線で業務を行う方々から、説明を受け、意見交換をすることができ、大変貴重な機会でした。日本や金沢の観光について、皆さん関心をお持ちで、様々な角度から質問を受け、私自身がそれを理解する良い機会になりました。滞在税は観光に関するものに充当されることから、観光をよりよいものにするために必要不可欠なものであるという点は皆さん共通していました。フランスの滞在税の状況や観光

部門が抱える課題などは、将来的に日本でも直面する可能性が十分あり、改めて、他国の自治体の取組を知ることにより、新しい取組の視点や発想に繋げていくことができるのではないかと感じました。快く受け入れていただいた皆様に感謝申し上げます。

そして忘れてならないのは、パリオリンピック・パラリンピックです。パリでオリンピックが開催されるのは1924年以来100年ぶり3回目、パラリンピックは初めての開催でした。セヌ川での開会式をはじめ、エッフェル塔でのビーチバレー、コンコルド広場でのアーバンスポーツ、ヴェルサイユ宮殿での馬術競技など、誰もが知る観光名所で競技が実施されました。テレビを通じて、パリの美しい街並みに魅了された方も多いのではないのでしょうか。開催前はパリ市内のいたるところで工事が実施され、交通渋滞も深刻で、直前になってもパリ市民からは開催に否定的な声もありました。しかし、蓋を開けてみると、大きなトラブルもなく、世界中から大勢の観光客が訪れ、昼夜を問わず、街が活気に満ち溢れ、大盛り上がりでした。私もサッカーやマラソンを観戦しました。競技場内の大歓声や緊張感を実際に感じる事ができたほか、各国の応援団とエール交換をするなど、貴重な時間を過ごすことができました。大会期間中にパリにいたことができたことを心から嬉しく思います。

2年間のパリ赴任もあっという間に帰国の日を迎えます。滞在中、様々な場面で金沢の良さを再認識することができました。これが私にとって最も大きな収穫です。帰国後はどのような業務であってもこの気持ちを忘れず、精進してまいります。



ル・ソルーズ副市長と記念撮影



コンコルド広場の様子



国際交流課にはベルギー、フランス、韓国、中国、イギリスの5か国の国際交流員（CIR）が在籍しています。姉妹都市との交流や通訳だけでなく、文書の翻訳、市民向け国際理解講座、学校訪問、「国際交流特使養成塾」の企画・運営、SNSでの情報発信など、多岐にわたって活躍しています！

活躍の様子はCIRのInstagram (@kanazawa\_cir) でもご覧になれるので、是非フォローしてください！



特使養成塾での講座



通訳として県に派遣



加賀友禅を体験



ラジオ番組の収録

## 国際交流員の一年

### ルベル・マシア（フランス）



Bonjour à tous！皆さん、こんにちは。フランス国際交流員のマシアです！

現在、石川県内で一番勤めの長いCIRになりました。今年4年目になって、あと1年半で国際交流員の経験が終わると思うと、すごく寂しくなります。しかし、まだ

まだ沢山体験し、金沢についてもっと知りたいという気持ちは消えていませんよ！

今年度は第8回日仏自治体交流会議でした！初めての出張は2年前の第7回日仏自治体交流会議で、知識不足で不安いっぱいでした。今年は、落ち着いて仕事をできるようになったなあと、自分が上達したことに気づき、一番誇りを持っているところです。

金沢市とフランスの姉妹都市ナンシーは、相変わらずダイナミックなつながりです。留学生、夏のインターン生と研修医の派遣と受け入れ、アーティスト交流、ナンシー市代表団の訪問で、今年も沢山頑張っ

れました。

私は、金沢市役所で働けば働くほど、金沢を好きになって、そのPRをするのはとても自然になりました。仕事だとしても、毎日新しい発見があり感謝しています。

2024年度の事業は、昨年同様にさまざまな活動を通じて、学校訪問や料理教室などを行い、金沢の人々と多くの文化交流を深めることができ、とても嬉しく感じています。これからもこの仕事を通じて周囲の方々からたくさん学びながら、一層努力していきたいと思っています。

昨年、能登半島で地震と豪雨が発生し、金沢は能登と深いつながりがあるため、市民や職員が勇敢にボランティア活動を行い被災者を支援している姿に感銘を受けました。日本人の強さ、前向きな姿勢に触れ、私も成長していると感じています。能登の被災者のために祈り、フランスが支援を行うことを確信しています。両国の絆を誇りに思い、私も最善を尽くします。

皆さん、今年もお元気で、愛しい人と優しくお過ごしください。

これからも精一杯頑張ります。今年もどうぞ、よろしくお願い致します。

## イ・ジミン (韓国)



안녕하세요! (こんにちは!)

今年もあっという間でした。残念ながら、私は2025年4月をもちまして、退職することになります。金沢で国際交流員として過ごしたこの2年は、私の人生にとってかけがえのない大切な時間でした。雨の日も雪の日もきれいなこのまちがとても好きです。色んな国際交流イベントを通じて、たくさんの市民の皆さんと韓国の文化を話し合いながら共有することができました。韓国の文化を興味深く聞いてくれて、また私にも日本の文化をたくさん教えてくれてありがとうございます。「違うから面白い」という国際交流の価値を皆さんに伝えることができてとても幸せでした。

姉妹都市である全州市ともたくさんの交流ができて嬉

しかったです。この仕事のおかげで全州の人には金沢の魅力を、金沢の人には全州の魅力を伝えることができました。両市は伝統と工芸が素晴らしい町で、自分にとっても新しい刺激をたくさん受ける機会でした。金沢に来たからこそ見える日本の伝統の魅力もたくさん学び、工芸にあまり関心がなかった私が、金沢の伝統工芸を見て新しい分野へ興味を持つようにもなりました。最初金沢に来たときは通訳も翻訳も戸惑うばかりでしたが、今では怖がることなく堂々とした通訳者になりました。

工芸、市議会、図書館、姉妹校、マラソンなどなど。いろんな分野で日韓交流ができるということ、そしてそれを私が繋げられるということ。本当に光栄でした。私は金沢を離れますが、これからも金沢と全州とのつながりは続きます。金沢での経験と思い出を胸に、これからも頑張りたいと思います。今まで本当にありがとうございました。감사합니다!

## 楊煜暉 (中国)



大家好! (皆さん、こんにちは!)

中国の国際交流員、楊煜暉です。金沢での2年目がそろそろ終わりを告げるところで、皆さんに最後のご挨拶をさせていただきます。前回の親善ニュースで綴ったいろいろな新しい体験が、今は私の金沢での大切な思い出になっています。祭りやイベントから感じる町全体の熱気と興奮、しとしと降る雨の中に佇む町家の静けさ。こういった金沢の表情を見て楽しむことは私の日常の一部になって、これから豊かな生活を歩むための養分です。

仕事での最大の思い出というと、やはり去年8月に行われたグローバルEXPOです。交流員のメイン担当者になった分、達成感がとても大きかったです。交流員たちの取りまとめやブースの企画・提案、そしてラジオやテレビの収録など、社会人になって一番忙しかったであろう時期を経験しましたが、皆さんと力を合わせてタイ

トル通り「グローバル」の絆を感じる「博覧会」に仕上げることができました。中でも、スタンプラリーの台紙をパスポート風に作るというアイデアが想像以上に人気で、意外にもクリエイティブなところで自信をもらったりました。

ほかには、国際交流特使養成塾の運営、中国語講座、市民向けの文化や料理講座、学校訪問などの仕事をさせていただきました。講座をするたびに、「この内容でみんなに楽しんで中国のことを知ってもらえるのか」と頭をひねって資料のバージョンアップをして、悩みながらも楽しく有意義な時間でした。おかげで、私も中国のいろいろな魅力を再発見できたと思います。

皆さん、2年間本当にいろいろお世話になりました。これから金沢から離れていても、金沢の素晴らしい伝統文化、親切で優しい人々、そして降りしきる雨（金沢で雨が好きになりました!）のことを忘れません。この出会いのすべてに感謝です。

それでは皆さん、またいつかお会いしましょう! 謝謝 (ありがとうございました)!



## エリー・ブーコック（英国）



Hello everyone! イギリス出身の国際交流員、エリーです。

金沢に来て、1年半が経ちました。2025年の8月に退職することになりますが、国際交流員としての仕事が終わっても、金沢に残りたいと思います。金沢を完全に好きになりました。歴史と現代、都会と自然がちょうどいい割合で混ざっていて、本当に落ち着く場所です。まだ知らない金沢もたくさんありますし、ここで出会った人との縁をもっと深めたいです。これからも金沢とイギリスの架け橋でいられるとうれしいです。

1年が経っても、まだ新しい経験がいっぱいあります。大好きな翻訳の仕事もちろん多いですが、国際交流員じゃなかったらできなかった仕事もたくさんあります！

今年で一番印象に残っている仕事というと、2024年の9月に人生初めての出張で韓国に行ったときです！ソウルで開催された「健康都市連合世界大会」で、英日通訳として参加しました。初めての出張が知らない国でとても緊張しましたが、一緒にいた健康政策課の人たちと国際交流課の温かいサポートのおかげでスムーズに行きました！

他に、年に7回開催されている特使養成塾で梨狩りにいけたり、グローバルEXPOで他の中央都市圏の国際交流員と一緒に仕事したり、ヨーロッパのクリスマスイベントで日本の子どもとイギリスのクリスマスを体験できたり、とても忙しくて楽しい一年でした。

2年間の短い間ですが、国際交流員として作った思い出はずっと大切にします。残りの4ヶ月、精一杯頑張ります！最後の挨拶になりますが、今までありがとうございました。Thank you for everything! また違う形で会いましょう！

## セリエー・アルノ（ベルギー）



Dag iedereen! (皆さんこんにちは！) ベルギー出身の国際交流員、アルノです。

金沢に来て約半年が経ちました。日本で働くことはずっと夢でしたので、金沢と、私の出身地であるゲント市の姉妹都市の絆を支援できることは、とても光栄に思います。

金沢での生活は、四季折々の美しさを間近に感じられる素晴らしい経験です。季節にかかわらず金沢の美しさがある。桜が街を飾る春、青空の下に緑豊かな風景が広がる夏、紅葉が山々や公園に鮮やかな色を添える秋、そして、雪が積もる冬。金沢市内では、毎日わたる犀川の景色には、広く、背景に山々が広がって見えますので、日本の美しさを感じます。ベルギーには山がほとんどないので、印象に残ります。

また、この6か月にわたって国際交流員としての忘れない経験も本当に多いです。特に印象的だったのは、消防署での多言語で対応するための訓練です。実際に救急車に運ばれるシミュレーションに参加しました。そのほかにも、金沢の郷土料理「はす蒸し」を学んだり、茶道を体験したり、山で梨の収穫体験をしたりしました。金沢での生活は面白い体験の連続です。また、ゲント市との食文化交流にも貢献ができて、非常に意味のある仕事だと感じます。

国際交流員としての冒険はまだ始まったばかりです。これからもどんな文化交流が待っているのか、とても楽しみです！よろしくお願いします。





第51号 (2024年度・令和6年度)

2025年3月発行

金沢市姉妹都市交流委員会

事務局：金沢市都市政策局国際交流課内

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069